

1. 1. 12 その他底魚類

1. 1. 12. 1 マダラ

担当者 調査研究部 田中 伸幸

(1) 目的

マダラは、網走支庁管内において主に沖合い底曳き網（以下、沖底と称す）漁業の重要な漁獲対象資源である。そのため、本海域におけるマダラ資源の動向を把握する。

(2) 経過の概要

本調査は、「資源評価調査（受託試験研究費：全額国費）」と共同である。また、マダラの資源評価は中央水試と北水研が行っているため、本調査で得られたデータはそれぞれ中央水試と北水研に送られ、資源評価の基礎データとして使用されている。

沖底漁獲量は、「北海道沖合底曳網漁業漁場別漁獲統計」の中海区「オコック沿岸」を集計した。沿岸漁獲量は、「漁業生産高統計」の宗谷支庁猿払漁協から網走支庁ウトロ漁協までを集計した（詳細は表1参照）。ただし、2008年度は暫定値である。また、網走漁協の協力を得て、市場庭帳から沖底漁業の銘柄別漁獲量を集計した。また、2008年12月に網走港に水揚げされたマダラの生物測定を行った。

(3) 得られた結果

ア 漁獲量の推移

本海域のマダラ漁業は、その漁獲のおよそ70%以上を大臣許可の沖底漁業が占めている（表1、図1）。ただし、1987年は例外的に53%程度であった。1965年以降の沖底の漁獲量は、681～4,460トンの中で推移しており、最近では1995年以降減少傾向が見られ、2003年以降は1,000トン前後で推移している。2008年の漁獲量は897トンであった。

沿岸漁業の漁獲量は、72～857トンの中で推移し、2004年以降の漁獲量は400トン以下で推移している。2008年の漁獲量は277トンであった。

漁獲量の多い沖底漁獲量について、網走漁協の市場庭帳から銘柄別のマダラ漁獲量を集計し、表2に示した。2008年の網走における銘柄別漁獲量はバラが362トンで最も多かった。

イ 漁獲物組成

2008年12月に網走漁協の沖底（かけまわし）で漁獲されたマダラについて、生物測定を行った。漁獲物の尾又長範囲は30～106cm台の間にあり、モードは34cm台であった（図2）。

表1 オホーツク海海域におけるマダラ漁業別漁獲量の推移（単位：kg）

年	沖合い底曳き網漁業			沿岸		合計
	トロール	かけまわし	沖底合計	宗谷	網走	
1961						1,609,802
1962						1,348,308
1963						1,808,486
1964						1,078,133
1965			1,970,331			1,675,832
1966			2,911,270			2,456,212
1967			2,324,663			1,591,002
1968			1,667,762			1,002,000
1969			1,265,202			1,381,000
1970			951,140			1,007,000
1971			2,554,416			2,105,000
1972	126,068	3,216,367	3,342,435			3,291,000
1973	108,589	3,606,013	3,714,602			4,148,418
1974	154,638	1,878,874	2,028,012			2,478,000
1975	857,062	1,314,762	2,171,824			2,243,423
1976	#####	1,507,594	2,745,110			2,913,461
1977	622,037	1,255,958	1,877,995			2,277,647
1978	#####	1,110,382	2,282,223			2,719,464
1979	399,992	1,166,761	1,566,753			1,894,442
1980	137,363	1,261,135	1,398,498			1,643,389
1981	97,576	1,434,703	1,532,279			1,769,388
1982	141,012	1,488,403	1,629,415			1,795,089
1983	140,836	967,462	1,108,298			1,284,401
1984	187,157	925,056	1,112,213			1,467,218
1985	#####	2,091,557	3,158,850			3,902,431
1986	604,349	2,557,176	3,161,525			4,018,874
1987	130,558	2,437,603	2,568,161			3,252,950
1988	32,778	819,262	852,040			1,621,355
1989	60,470	819,272	879,742			1,128,147
1990	96,024	2,549,879	2,645,903			3,346,374
1991	80,679	2,637,123	2,717,802			3,049,682
1992	92,387	1,287,427	1,379,814			1,850,434
1993	193,466	1,858,827	2,043,293			2,537,922
1994	112,956	4,347,364	4,460,320			5,112,251
1995	179,539	2,270,062	2,449,601			3,080,738
1996	219,677	1,594,634	1,814,311			2,255,608
1997	108,071	992,495	1,100,566			1,460,653
1998	66,160	1,255,183	1,321,343			1,679,758
1999	60,602	1,232,788	1,293,390			1,613,534
2000	105,819	2,187,643	2,293,462			2,787,585
2001	105,261	1,368,287	1,473,548			2,029,608
2002	129,399	1,331,376	1,460,775			1,956,947
2003	131,020	791,266	922,286			1,326,792
2004	121,575	933,459	1,055,034			1,411,280
2005	108,291	914,493	1,022,784			1,379,415
2006	71,491	610,045	681,536			1,004,411
2007	129,062	1,685,622	1,814,684			2,081,426
2008	82,710	814,048	896,758			1,173,765

資料：①北海道沖合底曳網漁業漁場別漁獲統計、中海区「オコック海」
 ②漁業生産高統計（宗谷支庁は猿払～枝幸）の沖底漁獲量を除く値
 ※2008年の沿岸漁獲量は暫定値。
 ③1961～72、74年の合計漁獲量は、水産現勢の網走支庁と枝幸町の合計漁獲量（沖底含む）。沖底統計の沖底漁獲量がこの合計より多い場合がある。おそらく、稚内根拠の沖底などの漁獲量が未集計であるためと思われる。

表2 2008年のマダラ銘柄別沖底漁獲量（網走漁協資料から集計）

銘柄											単位：kg	
	1尾入れ	2尾入れ	3尾入れ	4尾入れ	5尾入れ	6尾入れ	8尾入れ	10尾入れ	12尾入れ	バラ	合計	合計
1月			360	930	1,200	3,730	14,245	13,795			181,285	215,545
2月												
3月						120	120	120			5,372	5,732
4月			45	780	2,265	7,103	17,633	11,415	405		114,334	153,979
5月			455	2,049	2,289	6,529	11,614				40,985	63,920
6月		71	1,389	2,574	1,569	3,491	4,677	90			8,976	22,836
7月		345	1,491	1,936	1,763	3,531	4,706				1,540	15,310
8月		45	105	1,103	1,088	3,030	3,030	375				8,775
9月		201	546	966	951	1,731	1,628	1,463	555			8,040
10月		270	630	1,294	1,059	1,202	1,040	1,809	1,295			8,599
11月		240	615	1,320	1,425	2,145	2,280	5,685	4,245	821		18,776
12月		510	2,475	5,805	5,235	7,770	11,760	24,870	8,490	8,831		75,746
合計	0	1,682	8,110	18,756	18,843	40,381	72,731	59,622	14,990	362,144	597,258	

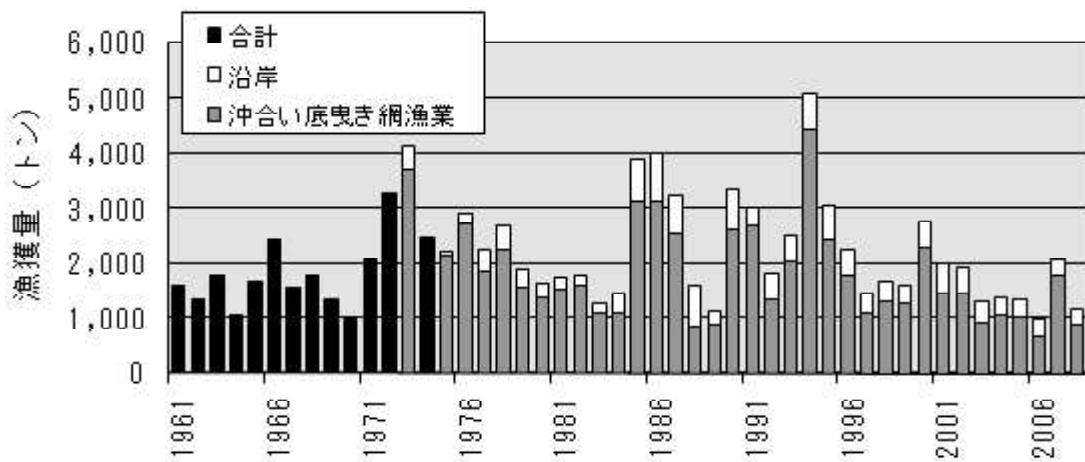


図1 オホーツク海におけるマダラ漁獲量の経年変化

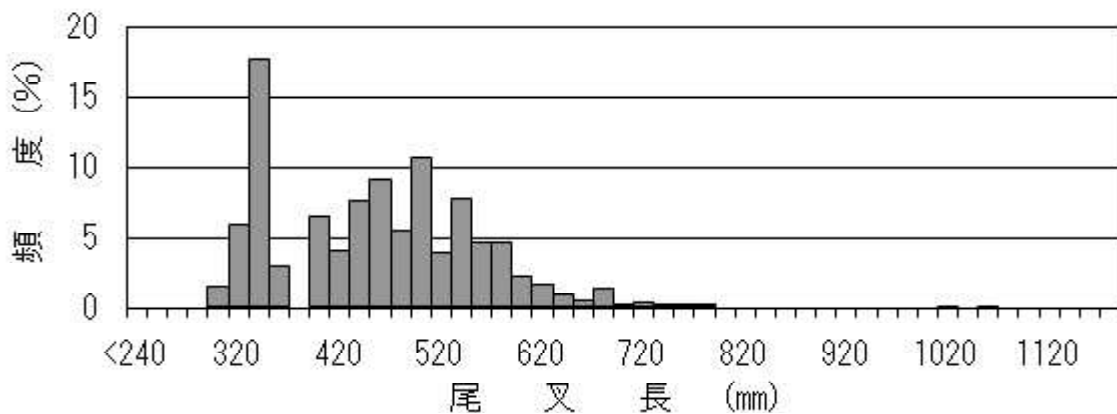


図2 2008年12月に水揚げされたマダラ漁獲物の尾叉長組成